

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
自らを律し、自ら主体的に、生涯にわたり学び続ける子

堺市立竹城台東小学校
校長 多賀井 直子

令和7年度 重点目標
「多様性を認め合う豊かな心と自尊感情を育成し、協働的な学びのための資質と確かな学力の向上を図る」
～「子どもが学ぶ・子どもと学ぶ」を合い言葉に「つながり合い・学び合い、深めあう」学習集団づくりを～

確かな学びの現状
令和6年度の取組により、「友だちの考えを聴いて学習している。」の肯定的回答が88%と大幅に増加した。また、全学年で自主学習ノートを活用した家庭学習を推進した結果、「家では自主学習を週一回以上している。」の肯定的回答が78%と大幅に増加した。また、「授業はわかりやすい」の肯定的回答が87%と10%増加した。児童用端末の利用は肯定的回答が94%と、利用することが定着してきていることがうかがえるが、まだまだ改善の余地がある。
今年度は、昨年度の取組をさらに深め、自分の考えをもって交流することで考えを深めあうことのできる児童の育成に努めたい。

豊かな心・健やかな体の現状
令和6年度の取組により、「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が82%、「自分にはよいところがある」の肯定的回答+10%以上を達成することができた。「困ったことがあれば先生や友だちに話ができる」の肯定的回答も、15%向上している。今年度も、同様に異学年交流や丁寧な関わりを継続していきたい。
また、「運動することが好きである。」の項目において、令和5年度と比して+5%以上を達成できた。基本的な生活習慣については、まだ改善の余地が多くある。体育の時間を中心とした体作りや基礎運動の充実、また、保健指導や学校生活全般を通して生活習慣への指導を通して、さらなる取組を進めていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	自分の考えを表現し、子どもが「つながり合い学び合い深めあう授業づくりを推進し、進んで学習、いきいきと輝く子どもを育成する。」	●「自分の考えの表現の仕方」や「考えを深めあう交流」を取り入れた授業展開を行う。 全学年で自主学習ノートを活用した家庭学習を推進する。	「友だちの考えを聴いて学習している。」の肯定的回答80% 「家では自主学習を週一回以上している。」の肯定的回答80%	教育アンケート 教育アンケート	1月 1月	B A	B B	B B	
		ユニバーサルデザインの授業を展開したり、思考や理解を深めるためにタブレットを活用することで、子どもがつまづきを防ぎ、確かな学力を育成する。	全職員で統一したノート指導に取り組み、どの子にも分かる授業づくりをめざす。 タブレットを活用した個別最適な学びを推進し、子ども一人一人の学びに向かう力を育成する。	「授業はわかりやすい」の肯定的回答80% 一日一回以上パソコンを活用する。	教育アンケート 実践報告	1月 1月	A A	A A	A A	B A
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	全教育活動の中で人権教育を推進し、あらゆる場面で子ども同士が「つながり合える集団づくりを進める。」	全ての子どもが安心して学校生活を送るために、人権的な意識を高め、お互いに認め合い自尊感情を高め、居場所作りを作る。	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答80%	教育アンケート	1月	A	B	B	B
			学級活動やたてわり活動、異学年交流等を通じて、子ども同士のつながりや主体性、リーダー性を育て、子どもの自尊感情を高める。	「自分にはよいところがある」「異学年交流についての項目」の肯定的回答80%	教育アンケート	1月	A	B	B	B
			●★学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの認知と防止、早期発見・早期対応のために、丁寧な対応を行う。	「困ったことがあれば先生や友だちに話ができる」の肯定的回答昨年度+5%	教育アンケート	1月	A	B	B	B
体力向上	子どもの体力向上に向けた取組を進め、安全で健康な生活を送る力を育成する。	体育の授業の中で、感覚づくりや基礎運動をする時間を確保する。また、全校で楽しく取り組める体力向上の取組を行う。	「運動することが好きである」の肯定的回答85%	教育アンケート	1月	B	A	A	A	
		子どもの健やかな体づくりのため、基本的な生活習慣について啓発を行っていく。	令和7年度5月実施のアンケート+5%	生活アンケート	1月	A	A	A	A	A
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を心がけ、保護者・地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。	●学校からのたよりや学校ホームページの積極的な活用により、本校の教育活動の取組を発信していく。	「学校は、情報発信に努めている」の肯定的回答90%で、「強く思う」を昨年度+5%	教育アンケート	1月	A	B	B	B
			保護者・地域に開かれた学校づくりのため、参観・懇談等の機会を適切に設ける。	「学校は、参観や懇談等の機会を適切に設けている」の肯定的回答90%で「強く思う」を昨年度+5%	教育アンケート	1月	A	B	B	B

校長より(年度末)
学校全体として見たとき、自尊感情が下がってしまった子どもたちが多かったことが、何より残念な一年間でした。全ての子どもが、自分は大切にされていると感じ、活躍することができる学校をめざし、ご家庭と地域の力を借りながら、あらためて進めていきたいと考えています。子どもより良い成長という共通目標に向け、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

学校関係者評価者から(年度末)
子どもの思いは瞬間風速のような面があるので、アンケートの数字に一喜一憂するのではなく、丁寧に読み取って改善に活かすようにしてほしい。子どもを励まし、きちんと愛情を与え、良い取り組みが学校の文化として定着するよう努めてほしい。